



2008年6月10日
株式会社デジタルガレージ

PRESS RELEASE

国際会議「iSummit2008」がアジアで初めて札幌市で開催 世界中の「クリエイティブ・コモンズ」関係者が参加 コンサートやワークショップなど一般参加者との交歓イベントも予定

年に一度、世界中のクリエイティブ・コモンズ関係者やオープンな情報流通を応援する人たちが一堂に会し、最先端のデジタルカルチャーについて多角的に検討する国際会議「iCommons Summit(以下 iSummit)」が2008年7月29日(火)から8月1日(金)にかけて札幌市の札幌コンベンションセンターで行われます。

芸術・著作権・IT・経済等の各分野から世界中の最高峰の識者が集まり、クリエイティブ・コモンズをはじめとする、オープンな情報共有のあり方に関して広く深く、先進的な議論を交わします。これまでブラジル、クロアチアなどで行われてきましたが、今年は、より多くの人に親んでもらえるようなコンサートやワークショップ等も行い、この機会にクリエイティブ・コモンズに対する理解の裾野が広がることを目指しています。

株式会社デジタルガレージは、本iSummitのスポンサーであると同時に、7月30日(水)に併設イベントとして「iCommons-Summit 2008」 SPECIAL DANCE PARTY "OKI DUB AINU BAND & MAREWREW Live Showcase"を主催します。

メインアーティストのOKI DUB AINU BAND & MAREWREWは樺太アイヌの伝統楽器『トンコリ』を現代に復活させたOKI率いる日本/アイヌ発のロックバンドにアイヌ伝統女性ボーカルを加えた9人編成のスペシャルバンドです

【iSummit 2008 開催概要】

- iSummit2008 日本語公式サイト (<http://www.creativecommons.jp/summit08/>)
- 開催日: 2008年7月29日(火)~8月1日(金)
- 場所: 札幌コンベンションセンター (<http://www.sora-scc.jp/access.php>)
- 主催: iCommons (<http://icommons.org/>)
- 共催: 札幌市、クリエイティブ・コモンズ・ジャパン (<http://www.creativecommons.jp/>)
- 後援: [株式会社デジタルガレージ](#)、[株式会社ネットプライス](#) [ドットコム](#)、[株式会社ロフトワーク](#)
[株式会社ライ・ビー・サッポロ](#)他
- 連絡先: アイコモンズ・サミット 2008 札幌実行委員会事務局(札幌市役所内)
TEL:011-211-3103 / E-mail:summit.team@city.sapporo.jp

【申込方法】

<http://www.creativecommons.jp/>からお申し込みください。

参加費用は以下の通りです。

一般・営利企業(全期間有効) 78,100円

NPO・学術研究者・政府関係者(全期間有効) 56,100円

学生(全期間有効) 23,100円

2-Day Pass(期間中2日間有効) 33,000円(日本人および日本在住の方向け特別割引)



PRESS RELEASE

【基調講演】

基調講演として、デジタル文化やコモンズ(共有資源)の分野において活躍されている実業家、ジャーナリスト、研究者などを世界各地からお招きし、より広い視野から、私たちの文化や未来、その中でオープン性や共有資源の果たす役割について考える手がかりとなるような講演をお届けします。

講演予定者はNew Oxford American Dictionaryの編集長を勤めたErin Mckean氏、ジャーナリストRebecca MacKinnon氏、オープンコンテンツの創始者David Wiley氏、角川ホールディングス会長角川歴彦氏、ソニーコンピュータサイエンス研究所取締役副所長北野宏明氏、クリエイティブ・コモンズCEO兼デジタルガレージ取締役の伊藤穰一氏などに登壇頂く予定となっております。

(基調講演は日本語の同時通訳が行われます。)

基調講演スピーカーの一覧はこちらからご覧頂くことができます。(英語)

<http://icommonssummit.org/programme/keynote.html>

【日本語プログラム】

日本語でのプログラムとしては、フリーライセンスやオープンコンテンツと技術、政策、教育、ビジネスなどの関係を扱うセッションを開催します。講演者は北海道大学の田村善之教授、ITジャーナリストの津田大介氏、ゲームデザイナーの飯野賢治氏、日本オープンコースウェア・コンソーシアム(JOCW)、日本デジタルコンテンツ協会(DCAJ)、Nifty、ニコニコ動画などで知られるニワンゴ、“初音ミク”を生み出したクリプトン・フューチャー・メディア、その他多くの個人、団体を予定しています。発表・討論と並行して動画・リミックスTシャツ製作・オンラインブック・音楽リミックス等のワークショップを開催し、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスをつけた作品の発表・リミックスなどを体験出来る場を設け、日本における多様なオープン化への取り組みの最前線を探り、未来を展望します。プログラムの詳細は、近くiSummit公式サイトで発表いたします。

【"SPECIAL DANCE PARTY " OKI DUB AINU BAND & MAREWREW Live Showcase】

iSummitの期間中、7月30日(水)に 併設イベントとして『iCommons-Summit 2008 " SPECIAL DANCE PARTY "OKI DUB AINU BAND & MAREWREW Live Showcaseを株式会社デジタルガレージの主催で行います。メインのOKI DUB AINU BAND & MAREWREWは樺太アイヌの伝統楽器『トンコリ』を現代に復活させたOKI率いる日本/アイヌ発のロックバンドにアイヌ伝統女性ボーカルを加えた9人編成のスペシャルバンドです。

■開催日:2008年7月30日(水)

■時間:20:00 オープン 20:30 スタート

■会場:札幌市内 JASMAL PLAZA ZANAEDU(札幌市中央区南7条西3丁目)

■入場料:無料(入場者多数の場合は制限させていただきます)

■主催:株式会社デジタルガレージ

■協力:iCommons、アイコモンズ・サミット 2008 札幌実行委員会、クリエイティブ・コモンズ・ジャパン

【すしプロジェクト】

本サミットの趣旨に呼応するかたちで、札幌・北海道・日本が誇る「すし文化」を更に世界文化たる「スシ・カルチャー」へと進化させることを目的に、『すしプロジェクト』と題して、世界中から新しいすしのレシピ及びデザインを募集することにしました。4部門を設け、部門毎に斬新性、発信性などの観点から優秀な作品を選出、本サミットにおいて発表、優秀作品は、iSummit公式ホームページで紹介するとともに、レシピ・デザイン集としてクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを付けて世界中に発信する予定です。



PRESS RELEASE

■募集期間:平成20年3月31日(月)~平成20年6月30日(月)

■公式サイト:<http://www.city.sapporo.jp/isummit08/sushi.html>

【音景 2008:CC ミュージック・ビデオ・コンテスト】

クリエイティブ・コモンズ ミュージック・ビデオ・コンテスト「音景 2008:CCミュージック・ビデオ・コンテスト(以下「CCコンテスト」)」は、参加する人全員で作る映像コンテストです。CCコンテストは、坂本龍一氏や小山田圭吾氏、大沢伸一氏といったプロのアーティストが、ミュージック・ビデオ作品と素材を、CCコンテストのために5つの動画共有サービス・サイトを通してクリエイティブ・コモンズ・ライセンスで提供しています。2007年までに、日本における動画共有サービス5社 — フリップクリップ(株式会社フリップクリップ)、クリップライフ(NTTレゾナント株式会社)、@niftyビデオ共有(株式会社ニフティ)、eyeVio(ソニー株式会社)、Yahoo!ビデオキャスト(ヤフー株式会社) — がクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを導入しました。刺激的で、なおかつ合法的なリミックス文化の土壌が整えられようとするこの状況を更に一歩前進させるために、iSummitの機会に合わせて、世界的にも例のない複数動画共有サービスが相互に協力する横断的な映像作品コンペを開催いたします。

■公式サイト:<http://creativecommons.jp/onkei2008/>

【iSummit 前夜祭 “クリエイティブ・コモンズ宴”】

iSummitの前夜祭として、パーティー形式でクリエイティブ・コモンズについて触れることのできるイベントを企画し、iSummitのプログラムや、CCミュージック・ビデオ・コンテストの紹介、生動画編集イベント等、盛りだくさんの内容を予定しております。iSummitの内容を知る良い機会となるものと考えております。

■日時:2008年6月24日 19:00スタート

■会場:東京カルチャーカルチャー(東京都江東区青海1丁目/パレットタウン Zepp Tokyo2F)

参考:http://www.creativecommons.jp/news/2008/06/05/cc_624.html

添付:【日本語プログラム各セッション概要と講演者】

セッション名	内容	講演者(敬称略)
クリエイター	<クリエイターの見る> クリエイターの視点から見たクリエイターの権利と著作権の未来について議論して頂きます。	飯野賢治(ゲームデザイナー) 伊藤穰一(クリエイティブ・コモンズ CEO、デジタルガレージ取締役)
政策	<自由文化と著作権政策> 現在の日本における著作権政策を法律・経済・具体的事象・文化庁の取り組み等を通じて考え、その中でクリエイティブ・コモンズをはじめとするオープンなライセンスがどのような役割を果たしているのかについて検討します。	津田大介(ITジャーナリスト) 金正勲(慶應大学 DMC 准教授) 田村善之(北海道大学教授) 境真良(早稲田大学 GITS 客員准教授) 澤伸恭(三菱UFJリサーチ&コンサルティング) 他
教育	<教育モデルの拡張と変革> インターネットによってオープンな知の共有が実現すれば、教育という概念も、社会の中で新しい形に発展	福原美三(慶応大教授・JOCW) 仲西正(NTT) 吉江弘一(FTEXT)



PRESS RELEASE

	<p>していくかも知れません。本セッションでは、クリエイティブ・コモンズのライセンスなどを使ってオープンな教育の仕組みに取り組んでいる方々に、オープンな教育の意義について討議して頂きます。</p>	
技術・サービス	<p><参加型文化を支える技術の現状と展望> 参加型の文化を実現している流通や検索、再利用やコラボレーションは多くの個人、団体の生み出すアイデアと技術によって成り立っています。本セッションではこのような取り組みの最前線にいる方々に、参加型の文化を実現する技術の現状と展望を議論して頂きます。</p>	林紘一郎(DCAJ) 木野瀬友人(ニワンゴ取締役) 和田昌之(Xarts 代表取締役) 東博暢(日本総研) 能見大二郎(エンターディヴ代表) 他
ビジネス	<p><オープンビジネスの可能性> 複製や再配布・再創作について制約のゆるいライセンスや流通システムを使うビジネスが増え、オープンビジネスといった呼称が生まれるまでに至っています。この領域にはどのようなビジネスモデルがあるのか、流通の仕組みの選択・決定までの経緯や理由、使い方のコツ、メリット・デメリット、興味深い事例など、ライセンスと事業との関連を議論し、先進的な取り組みをご紹介します。</p>	黒田由美(ニフティ) 西尾公孝(クリプトン・フューチャー・メディア) 他
ワークショップ	<p><音楽ワークショップ> ハウス・アンビエントミュージックの第一線で活躍するテーリ・テムリッツ氏を講師として、リミックス・サンプリングの意味、音楽の Web 配信の意味、CCライセンスの可能性等を実際の経験を基に講義し、実際にリミックス等を実演してもらいます。</p> <p><Cシャツワークショップ> さまざまな CC ライセンス付きのデザイン・写真等を参加者がリミックスした T シャツ(C シャツ)を作成します。実費にて C シャツをその場でお持ち帰りいただけます。</p> <p>そのほか、動画のリミックスに関するワークショップ、オンラインの本・雑誌等の製作に関するワークショップを予定しています。</p>	テーリ・テムリッツ